



©SEGA TOYS / SPIN MASTER / BAKUGAN PROJECT

“爆丸”アメリカで2009年「トイ・オブ・ザ・イヤー」を受賞するなど海外で爆発的ヒット更新中!



©2008,2009 SANRIO/SEGA TOYS
サンリオ・セガトイズ/ウィーヴ・テレビ大阪・ジュエルペット製作委員会

(株)サンリオとの共同開発キャラクター「ジュエルペット」のTVアニメ好評放映中!

証券コード:7842



トップインタビュー



この時代だからこそ
私たちが生む「新しい感動」をお届けしたい。

株式会社セガトイズ 代表取締役社長 國分 功

Q 景気低迷期における、玩具業界の現状と展望について

A 現在、業界全体では厳しい状況にあることは否めません。このマイナストレンドは、世界同時不況として語られている昨年10月より以前から、ここ4、5年の傾向かと捉えています。

その原因としては、少子化などさまざまなものがあげられるでしょう。また、こうした経済環境の元においては、玩具業界としてどうしても保守的な戦略を選択しがちであることがあげられます。玩具業界を牽引するメーカーは、それぞれ上場企業としての責任を持った経営が強く求められています。

そこでは優良な定番コンテンツを大切に、確実な業績をあげていくことはひとつの重要なミッションです。その中で思い切った冒険はしづらいというのもこの状況を打開できない要因のひとつといえるかもしれません。

「しかし」と、我々は思います。我々玩具業界、メーカーが本来すべきことはなにか？それは「お客さまに感動を与えるエンターテインメントを送り出す」ということ。そしてそのために「新しいチャレンジを続けていく」ことではないでしょうか。

確かに景気悪化、低迷の状況など、厳しい理由は玩具業界にはあります。しかし、その中でも新しい、感動を与えるコンテンツというものは確実に生み出されています。チャレンジできないのではなく、「しない」ということが問題ではないかと我々は考えるのです。

玩具業界には、まだまだ大きなチャンスがあります。トレンドを言い訳にせず、お客様に感動を与え続けていくことで状況は打破できるでしょう。

Q その中でセガトイズの第19期の業績と課題について

A 第19期の業績面では、海外市場における「爆丸」の大ヒットにより、順調に売り上げを伸ばすことができました。優良コンテンツの力がいかに大きいかという証明かと考えます。また、第18期の反省を踏まえ在庫管理の徹底を行い、3億円以上のたな卸資産を軽減。これにより、セガトイズ単体としては黒字化という結果になりました。

一方、利益率の高い国内販売が大幅に落ち込んだことで、営業利益、経常利益ともに当初計画を大幅に下回りました。「ホームスター」「グランドピアニスト」に続く話題作や新しいコンテンツを市場に送り出せなかったことが原因であると考えています。また、トイラジコン分野を得意とする子会社(株)タイヨーの業績悪化も大きな課題です。直さなければならぬポイントはわかっています。すでに我々は走り出しました。



まずコンテンツ面では、充実したラインナップが質量ともに整ってきた状況です。(株)タイヨーについても、市場にあわせた施策とセガトイズのグループシナジー強化に着手。経営面では「執行役員制度」導入による意思決定のスピードアップ、企画・マーケティング力強化、グローバル事業の推進、生産・販売・在庫管理のさらなる精度向上などを推進しています。

このように第20期に向けては、非常にいいスタートが切れたのではないかと確信しています。

Q 第20期にヒットが期待できる商品とコンテンツは?

A 世界34カ国で大人気の「爆丸」については、シリーズ「3」プロジェクトがスタート。ますます海外での広がりが期待できると同時に、国内でのリマーケティングを行い、再び「爆丸」の魅力在国内市場に広めていきます。

女兒ホビー市場においては、「くるりんアイスクリン」「スプレーアート」の展開、そしてこの分野で最も期待するのはサンリオ社との共同キャラクターである「ジュエルペット」です。テレビアニメ、サンリオの強力なブランドでさらなる拡販を目指します。また、新たな大型キャラクターの投入、安定した人気を誇る「アンパンマン」シリーズの充実も楽しみです。

セガトイズの目指すもの、そして株主の皆様へのメッセージ

株主の皆様には、2期続けてご期待を裏切る経営成績になってしまったことを、お詫び申し上げます。第20期は、3年間の中期経営計画の2期目となります。この期において地固めを終え、回復基調に戻すこと。これが最大のお約束だと考え、身を引き締め取り組んでまいります。

我々は創業以来、「新しいビジネスモデルを創りあげる」ことをテーマに掲げてきました。常にお客様に新しい感動を。そのためには、従来の考えや習慣に縛られない脱・玩具業態を目指すことが必要です。玩具業界全体の負のトレンドを我々は言い訳にせず、お客様に向き合っています。

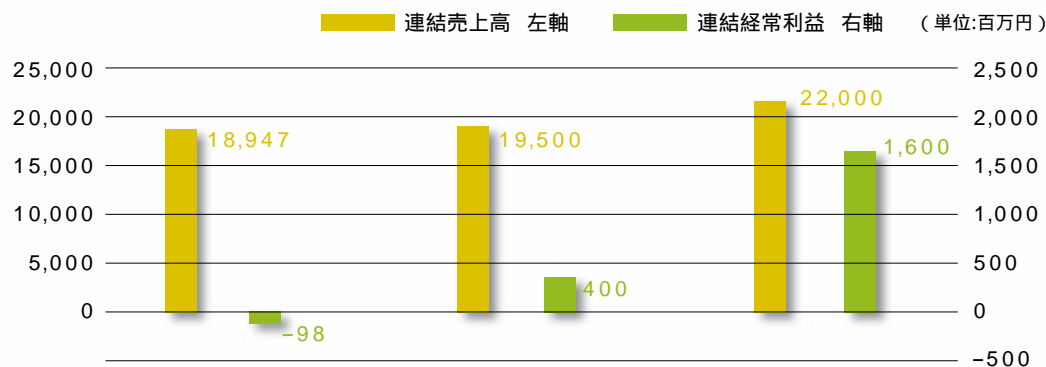
今後とも、セガトイズグループをご支援賜りますようお願い申し上げます。

中期経営計画

中期経営計画ビジョン

全く新しい価値を創造して
最上級の顧客満足「感動」を届ける
“感動”エンターテインメント企業への飛躍!

中期経営計画数値目標



中期経営計画 方針と施策

新たな需要を創造し市場を開拓する
差別化されたグローバル戦略の展開
需要創造とグローバル展開にチャレンジする企業風土の活性化

これまでの玩具業態にとらわれない
“セガトイズビジネスモデル”の確立

成長のためのシナリオ

エデュテインメント関連

- ① 顧客ニーズを捉えたヒットソフトの創出
- ② 過去の資産を活用した事業への進出
- ③ アライアンスによるOEM事業の強化

ファミリーエンターテインメント関連

- ① 新価値商品による新規市場の開拓
- ② ヒット商品の定番化、ブランド化を促進
- ③ 「逸品モノ」シリーズのグローバル化

NEWコンテンツビジネス関連

- ① 今までにないトイメーカー主導によるグローバルコンテンツビジネスの確立
- ② オリジナルキャラクター創出体制の強化
- ③ グループシナジーの発揮とアライアンスノウハウを活かした市場開拓

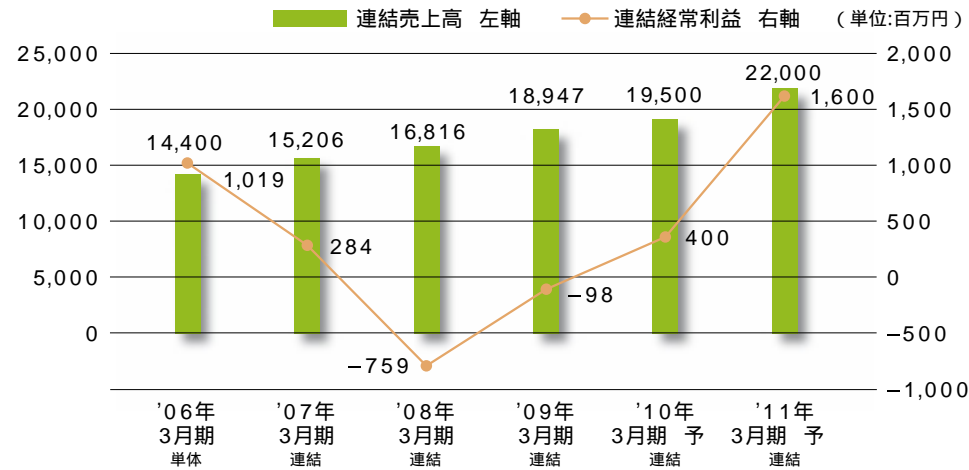
ホビー関連・その他

- ① 製品拡充によりカテゴリーNo.1へ
- ② 新規ジャンルの開拓
- ③ グローバルビジネスの強化

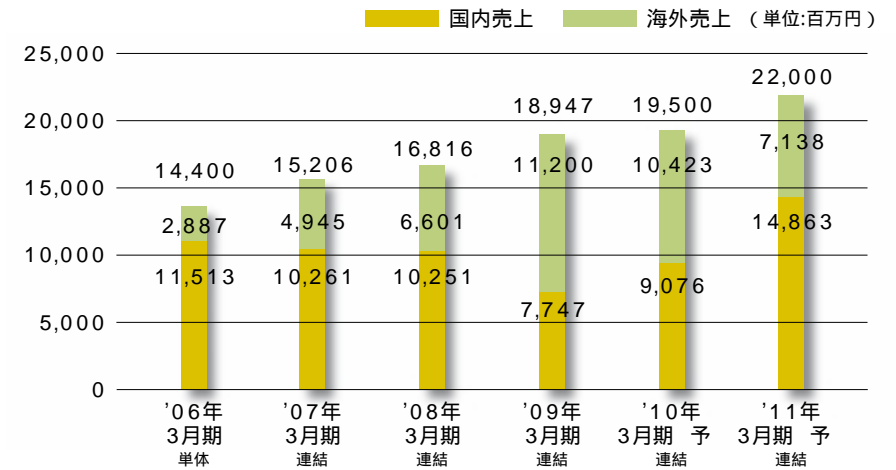


中期経営計画 進捗状況

連結 売上・経常利益

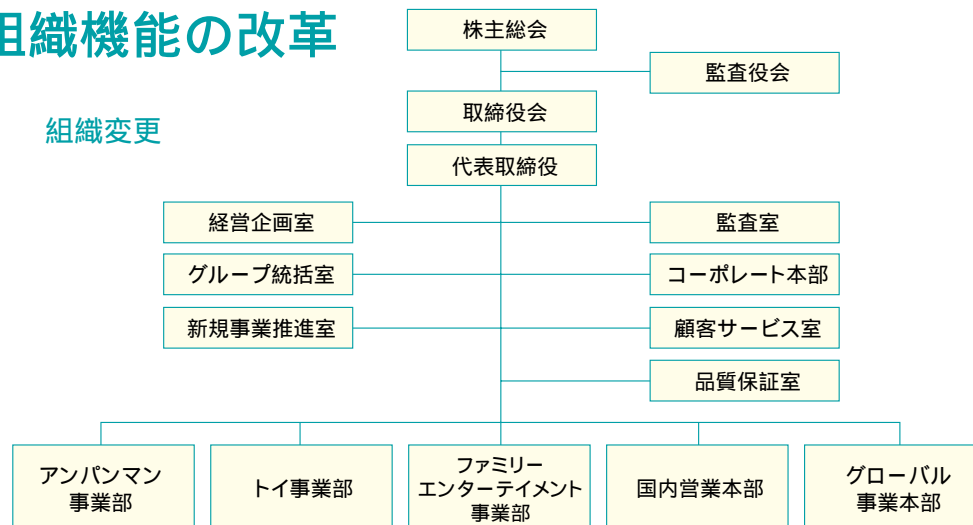


連結 国内・海外の売上



組織機能の改革

組織変更



社長コメント

中期経営計画の初年度である第19期では、たな卸資産の軽減など着実に足固めの施策は成功を収めてきました。また国内市場の景気低迷の中、海外市場で「爆丸」という大ヒット商品により売上拡大を図ることができました。最終年である第21期へ向けて、第20期では、下記にあげた5つの戦略を確実に実行していくとともに、子会社の再構築、そして質量ともに充実したコンテンツ群を軸に計画の必達を目指します。

- ① 「執行役員制度」導入による、責任権限委譲による意思決定のスピードアップ
- ② 体制変更に伴う、企画・マーケティング機能の改革
- ③ 開発～生産の専任部署を設置し、コスト低減・納期短縮・品質確保
- ④ 国内販売体制の見直しによる、国内販売計画・生販在管理の精度向上
- ⑤ 社内管理体制の強化

テレビアニメ「爆丸2」が米国で放映開始 「爆丸」海外で爆発中!



玩具とアニメ一体の 新しいエンターテイメント

世界34カ国で(09年5月現在)絶大な人気を誇っている、玩具とテレビアニメーションの融合によるエンターテイメント「爆丸(BAKUGAN)」。カードゲームの魅力と、コレクション性のあるキャラクターに瞬間変形する球を使って1対1、グループで対戦するアクションゲームの楽しさをあわせ持つ新しいスタイルのアクションカードゲームです。

さらにユニークなのは、アニメから玩具という流れではなく、アニメと玩具が完全に一体となった世界観を創り上げていること。個性豊かな少年少女が「爆丸」バトルを繰り広げながらチームワークや思いやりを説いていくアクションアドベンチャーであるこのアニメの、ストーリー構築、キャラクター設定段階からセガトイズは参画しています。

アニメーションの世界で数々のヒットを飛ばしているトムス・エンタテインメント、北米の大手玩具メーカーであるスピン・マスター・リミテッド、同じく北米で人気子供番組のプロデュースを手掛けるコーラス・エンタテインメント・インクとの4社共同プロジェクトであるワールドワイド事業。4社による得意分野のシナジーでますます面白い世界観、そして大きなビジネスへと発展させています。

アメリカで2009年「トイ・オブ・ザ・イヤー」を受賞!

あわせて、「ボーイズ・トイ・オブ・ザ・イヤー」(ベスト男児玩具)受賞

「プロパティ・オブ・ザ・イヤー」(最も成功したプロパティまたはブランド)受賞

ドイツで「Germany Toy Innovation Award 2009」を受賞 オーストラリアで「Boys Toy of the Year」を受賞



主な展開国

アジア	日本・韓国・台湾・インドネシア・タイ・香港・シンガポール・マレーシア・インド
北米	カナダ・アメリカ
南米	メキシコ・ブラジル
ヨーロッパ	イギリス・フランス・ドイツ・スペイン・イタリア・スウェーデン・ノルウェー・スイス
中東	UAE・サウジアラビア
オセアニア	オーストラリア



©SEGA TOYS / SPIN MASTER / BAKUGAN PROJECT

毎週毎週、制作監督から、背景デザインの方までアニメクリエイターたちと会議を行い、徹底的に玩具ありきでもなく、アニメありきでもない世界観の運動を行っています。

私たちの製品がグローバルに売れているという喜びと同時に、海外の企業、クリエイターたちと一緒にムーヴメントを起こしているというやりがいもあるプロジェクトです。第20期では、この成功をもう一度国内で、そして第2の「爆丸」を育てていきます。

グローバル事業本部 事業開発マネージャー 佐藤 渉



セガトイズとサンリオの共同開発キャラクター 「ジュエルペット」アニメ放映中!



強力なキャラクターで 多彩な展開を

「爆丸」が、主に海外、男児向けに新しいエンターテインメントの世界を切り開いた商品とすれば、「ジュエルペット」は、国内の女児向けの新しいキラコンテンツです。

サンリオ社と共同開発した新キャラクター「ジュエルペット」は、動物をモチーフにした33種類の魔法使いのペットたち。それぞれに宝石の名前と光り輝く宝石の目を持っています。多様な嗜好をもつ最近の女の子たちは各キャラクターに思い入れを抱くことができます。このキャラクターたちが、テレビアニメ、キャラクター玩具、そしてWebと連動した玩具という様々な展開の中で魅力をふりまきます。キャラクター玩具である「光かがやく 魔法のジュエルハウス～紅玉のおうち～」などは先行して発売されていましたが、待望のテレビアニメが4月5日から放映開始(毎週日曜日朝9時30分～テレビ大阪・テレビ東京系)さらに人気が高まっています。また、Web連動玩具「うえぶぐるみ～ネットで出会える魔法ペット」は、ファンだけではなく業界からも注目されている商品。インターネットでぬいぐるみ付属のIDを入力すると仮想空間ジュエルランドにそのキャラクターが登場。セガトイズらしい新しい楽しさを体現しています。

ジュエルペットテレビアニメ



光かがやく 魔法のジュエルハウス～紅玉のおうち～



うえぶぐるみ～ネットで出会える魔法ペット



© 2008,2009 SANRIO / SEGA TOYS サンリオ・セガトイズ / ウィーヴ・テレビ大阪・ジュエルペット製作委員会

エデュテイメント関連

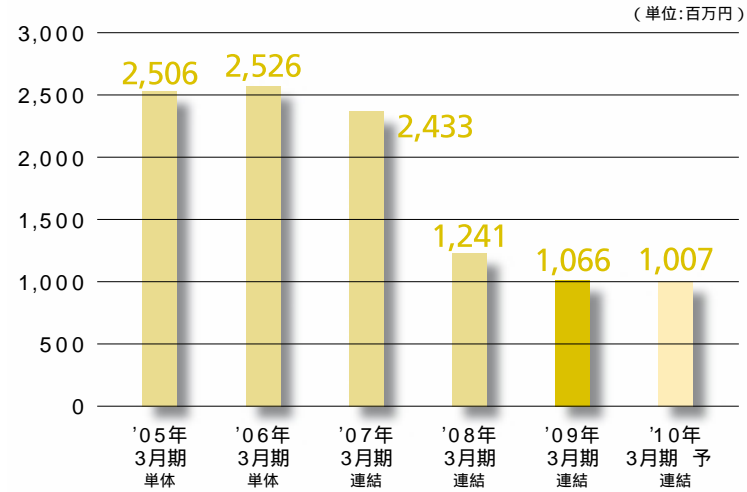
Edutainment

遊びながら「学ぶ」

玩具業界で唯一のプラットフォームビジネスを展開し、教育的要素(エデュケーショナル)と玩具の楽しさ(エンターテイメント)を組み合わせた製品及びサービスを提供するエデュテイメント事業を展開しています。

知育事業としてトータルなマーケティングを行うことによりエデュテイメント売場の拡大、知育マーケットでの事業拡大を図り、オンリーワン事業として中長期への安定化を目指していきます。

売上高推移



売上高構成比('09年3月期)



第19期



ビーナLite



ビーナ専用ベリフェラルソフト
それいけ!アンパンマン
どきどき!レスキュードライブ-カーナビつき-
©やなせたかし/フレーベル館・TMS・NTV



ビーナ専用絵本ソフト
アンパンマンをさがせ!
©やなせたかし/
フレーベル館・TMS・NTV

第20期



侍戦隊シンケンジャー
バトルがいっぱい!!いざ参る!
©2009 テレビ朝日・東映AG・東映
BANDAI 2009
製造元:株式会社バンダイ
販売元:株式会社セガトイズ

ファミリーエンターテイメント関連

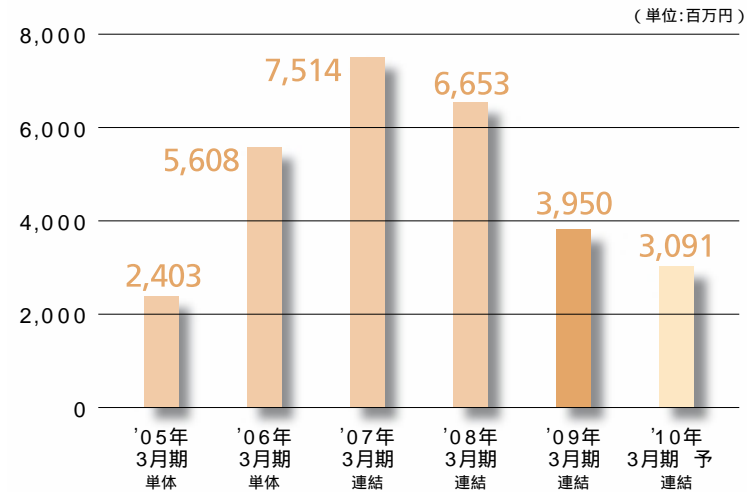
Family Entertainment

遊びながら「心を癒す」

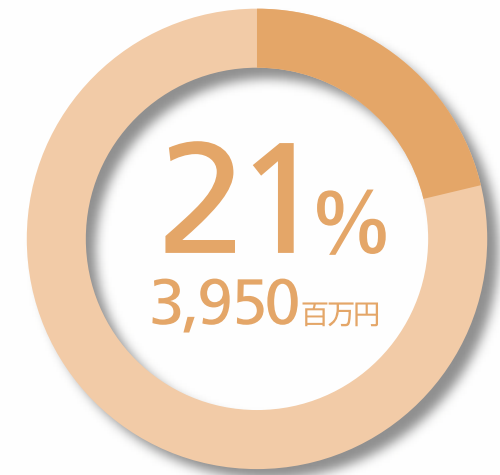
様々なコミュニケーションから生まれる楽しみや喜びを新しい付加価値として創造し、従来の玩具領域を超えた新しい生活エンターテイメントツールとしての製品及びサービスを提供する事業を展開しています。

当社の強みであるデジタル技術(IC・センサー・メカトロニクス)に玩具開発のノウハウを活かし、オールターゲット(全年齢・全世帯・全世界)に向け、新しい付加価値を創造していきます。

売上高推移



売上高構成比('09年3月期)



第19期



第20期



NEWコンテンツビジネス関連

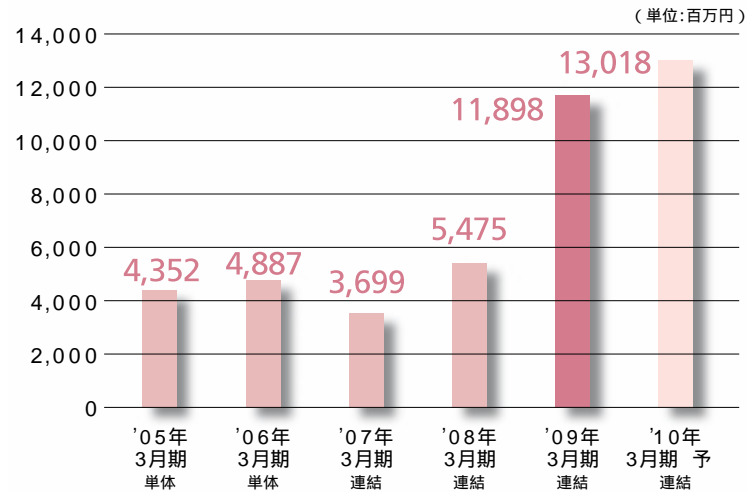
New Contents

遊びながら「心を育む」

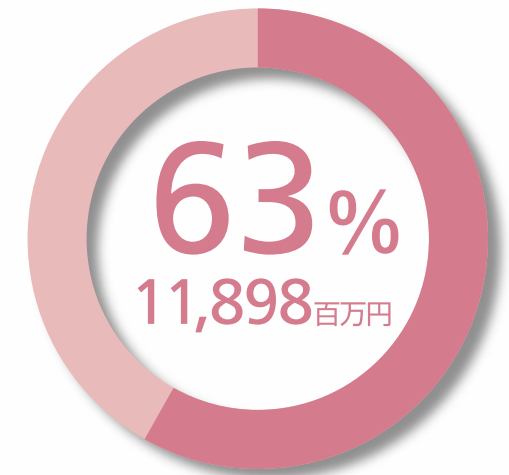
オリジナルキャラクターの創出や、異業種とのアライアンスも含めた契約による製品化権の許諾を受けたキャラクターを用いた、製品及びサービスを提供する事業を展開しています。

様々な種別のキャラクターコンテンツ(オリジナル・ソーシング)を、様々なアライアンス活動により新しいビジネスモデルとして構築し、玩具や玩具周辺事業などを具体化していきます。

売上高推移



売上高構成比('09年3月期)



第19期



アンパンマンレジスター
©やなせたかし/
フレール館・TMS・NTV



爆丸
©SEGA TOYS / SPIN MASTER /
BAKUGAN PROJECT



ジュエルペットうぶぐるみ
©2008,2009 SANRIO/SEGA TOYS
サンリオ・セガトイズ/ウィーブ・テレビ大阪・ジュエルペット製作委員会



くるりんアイスクリン

第20期



デコッチャオ

ホビー関連・その他

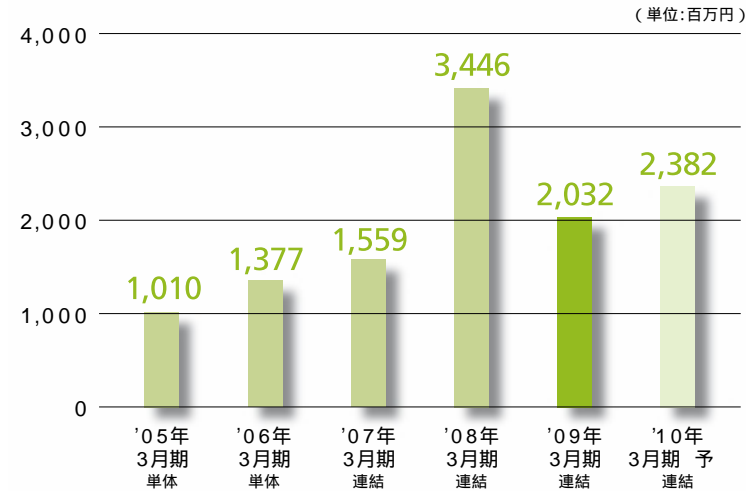
Hobby Related & Others

さらなる可能性を求めて

ラジオコントロール玩具事業やアミューズメント施設向け製品、バンダー製品、ライセンスビジネスなどを手がける事業を展開しています。

セガサミーグループシナジーを発揮した商品開発や、アミューズメント施設向け機器や景品事業などにも取り組んでいます。

売上高推移



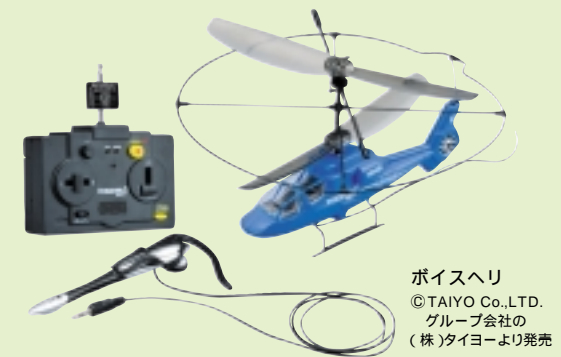
売上高構成比('09年3月期)



第19期

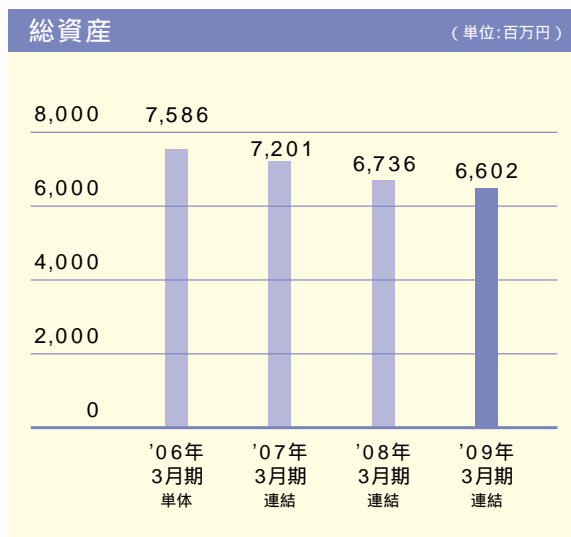
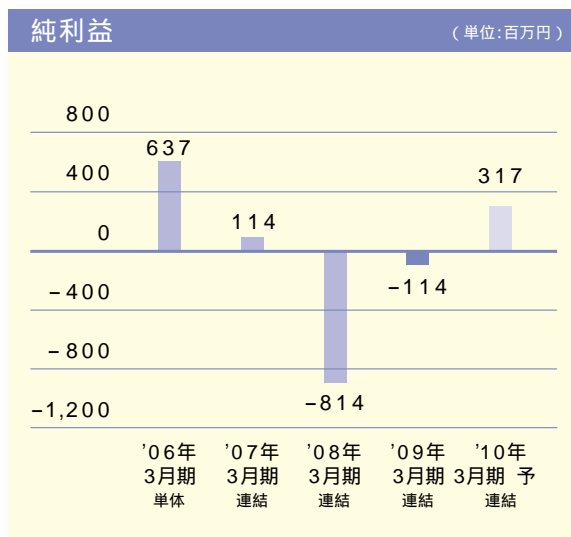
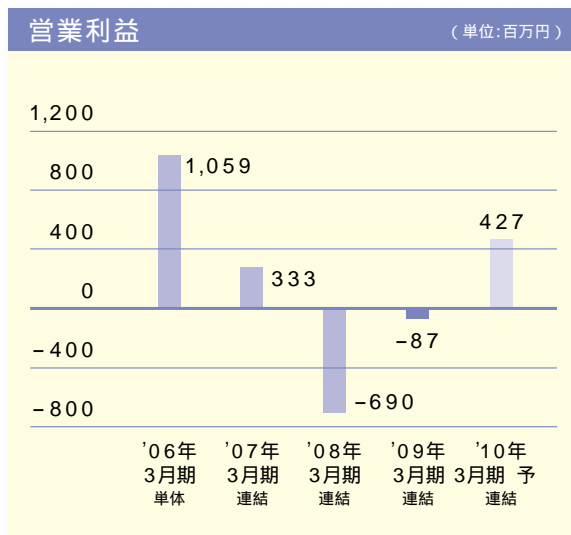


第20期



事業概況

連結財務ハイライト



業績概況

エデュテイメント関連

ビーナシリーズは、廉価版である「ビーナLite」を投入し、需要の喚起に努めましたが、低調な結果に終わりました。一方、ココパッドシリーズは、前期に引き続き株式会社ベネッセコーポレーション向けの販売が堅調に推移いたしました。これらの結果、売上高は1,066百万円(前期比14.1%減)となりました。

ファミリーエンターテイメント関連

大人向け高額商品「ホームジュークボックス」、「ライブドリーム」を新たに市場に投入し、「IPPINmono」シリーズの拡充をはかりましたが、前年好調であった「グランドピアニスト」も含め、個人消費の落ち込みの影響を受け販売は低迷いたしました。家庭用プラネタリウム「ホームスター」については、「ホームスターSpa」、「ホームスターEXTRA」を発売し定番化に取り組みました。夢ペットシリーズでは、当期発売した「うちのスーパードッグさかだちラッキー」が好調に売上を伸ばすことができました。

海外においては「i-dog」がピークアウトしたこともあり売上高は減少いたしました。

これらの結果、売上高は3,950百万円(前期比40.6%減)となりました。

NEWコンテンツビジネス関連

長期定番のアンパンマンシリーズは、「アンパンマンレジスター」が2008年おもちゃ大賞において共有玩具部門大賞を受賞するなど堅調に推移いたしました。女兒キャラクターシリーズでは、「スプレーアート」及び当期発売した「くるりんアイスクリン」も順調に売上高を伸ばしました。また、株式会社サンリオとのライセンスによる新キャラクター「ジュエルペット」を4月からのテレビアニメ放映に先駆け発売いたしました。「古代王者 恐竜キング」は前期を大幅に下回りました。

海外につきましては、「爆丸」が米国市場においてトイ・オブ・ザ・イヤーを受賞するなど大ヒットし、売上高を大きく伸ばしました。

これらの結果、売上高は11,898百万円(前期比117.3%増)となりました。

ホビー関連・その他

映像出資収入が増加した反面、子会社である株式会社タイヨーのラジオコントロールトイの売上高が大幅に前期を下回りました。

これらの結果、売上高は2,032百万円(前期比41.0%減)となりました。

連結財務諸表

連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	第18期 2008年3月31日	第19期 2009年3月31日
資産の部		
流動資産	5,783	5,678
固定資産	939	897
繰延資産	13	27
資産合計	6,736	6,602
負債の部		
流動負債	2,842	2,190
固定負債	478	1,083
負債合計	3,320	3,274
純資産の部		
株主資本	3,415	3,313
資本金	1,729	1,735
資本剰余金	1,750	1,755
利益剰余金	64	178
評価・換算差額等	4	5
新株予約権	—	21
少数株主持分	3	—
純資産合計	3,415	3,328
負債純資産合計	6,736	6,602

POINT

当連結会計年度末の総資産は前期末に比べ133百万円減少し、6,602百万円となりました。主な要因は、現預金は659百万円増加しましたが、有価証券が500百万円、棚卸資産が309百万円減少したことによるものです。

負債は、前期末に比べ46百万円減少し、3,274百万円となりました。主な要因は、前受金が199百万円増加しましたが、短期借入金等有利子負債が196百万円減少したこと等によるものです。

純資産は、前期末に比べ86百万円減少し、3,328百万円となりました。主な要因は、当期純損失114百万円を計上し、新株予約権が21百万円増加したことです。

連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	第18期 2007年4月1日～ 2008年3月31日	第19期 2008年4月1日～ 2009年3月31日
売上高	16,816	18,947
売上原価	12,829	14,951
売上総利益	3,987	3,996
販売費及び一般管理費	4,677	4,083
営業損失()	690	87
営業外収益	40	28
営業外費用	109	39
経常損失()	759	98
特別利益	1	—
特別損失	16	—
税金等調整前当期純損失()	774	98
法人税、住民税及び事業税	22	6
法人税等調整額	17	12
少数株主損失()	0	3
当期純損失()	814	114

POINT

国内販売は、アンパンマンシリーズは好調であったものの、男子キャラクター玩具は前期を大幅に下回りました。大人向けの高額製品は、「ホームスター」が堅調に推移したものの前期を大幅に下回りました。

海外販売は、「爆丸」が米国市場にて大ヒットし、売上を大きく伸ばしました。

利益面につきましては、利益率の高い国内販売の落込みが厳しく、前期より回復したものの損失を計上いたしました。

結果、売上高は18,947百万円(対前期比12.7%増)、経常損失98百万円(前期は経常損失759百万円)となりました。

当期純損失は、114百万円(前期は当期純損失814百万円)となりました。

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	第18期 2007年4月1日～ 2008年3月31日	第19期 2008年4月1日～ 2009年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	372	930
投資活動によるキャッシュ・フロー	529	20
財務活動によるキャッシュ・フロー	773	208
現金及び現金同等物に係る 換算差額	3	40
現金及び現金同等物の増減額 (は減少)	612	661
現金及び現金同等物の期首残高	988	1,601
現金及び現金同等物の期末残高	1,601	2,262

POINT

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、930百万円の資金を得ました。(前年同期は372百万円)。これは主に、税金等調整前当期純損失98百万円を計上しましたが、減価償却費を527百万円計上し、売上債権が138百万円減少、たな卸資産が309百万円減少したこと等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は20百万円となりました。(前年同期は529百万円)。これは主に、有形固定資産の取得(主に金型)による支出489百万円、有形証券の償還による収入が500百万円あったこと等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は208百万円となりました。(前年同期は773百万円の収入)これは主に、短期借入金の返済400百万円、社債の償還が716百万円ありましたが、社債の発行による収入が929百万円あったこと等によるものです。

結果、現金及び現金同等物は、投資活動により20百万円、財務活動により208百万円を使用しましたが、営業活動により930百万円の資金を得た結果、前期末比661百万円増加し、2,262百万円となりました。

連結株主資本等変動計算書(第19期 2008年4月1日～2009年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				評価・換算差額等			新株予約権	少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計			
2008年3月31日残高	1,729	1,750	64	3,415	0	3	4	0	3	3,415
連結会計年度中の変動額										
新株の発行(新株予約権の行使)	5	5		11						11
剰余金の配当										
当期純損失			114	114						114
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額(純額)					0	1	1	21	3	15
連結会計年度中の変動額合計	5	5	114	102	0	1	1	21	3	86
2009年3月31日残高	1,735	1,755	178	3,313	0	5	5	21	0	3,328

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日
定時株主総会	毎年6月
基準日	毎年3月31日 他必要がある場合は、あらかじめ公告して基準日を定める
配当金受領株主確定日	期末：毎年3月31日 中間：毎年9月30日
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	大阪府大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 (郵便物送付先)	東京都中央区八重洲二丁目3番1号 住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎0120-176-417
ホームページURL	http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html
(株式に関する 住所変更等のお届出 およびご照会について)	証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社にお問い合わせいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。
公告掲載新聞	日本経済新聞
上場証券取引所	ジャスダック証券取引所(証券コード 7842)

株主優待品のご案内

平成21年3月31日現在の株主名簿および実質株主名簿に記載または記録された株主様に対しまして、下記商品を贈呈いたしますのでご紹介いたします。

所有株式数5,000株(50単元)
以上の株主様「花つば」
2,625円(税込)



所有株式数100株(1単元)
以上の株主様
「カウントダウンクロック」
1,260円(税込)



所有株式数に応じた商品を郵送させていただきます。

会社概要

商号	株式会社セガトイズ
英文商号	SEGA TOYS CO., LTD.
創業	1991年2月
代表者	國分 功
所在地	東京都台東区柳橋一丁目4番4号 ツイントラスビル
資本金	1,735百万円
従業員数	189名(連結)

役員(2009年6月16日現在)

取締役会長	里見 治	執行役員	葉原 良治
代表取締役社長	國分 功	執行役員	杉本 道俊
専務取締役	鈴木 義治	執行役員	大村 寛明
専務取締役	菅野 暁	常勤監査役	山重 佳治
取締役	吉野 繁	監査役	辻 勇
取締役	横関 謙治	監査役	嘉指 富雄
執行役員	金井 明彦	監査役	向 吉太郎
執行役員	木村 純一		

子会社

株式会社レムアート
東京都千代田区麹町二丁目2番地 麹町鈴木ビル4階

株式会社セガトイズ・プラス
東京都台東区柳橋一丁目4番4号

SEGA TOYS(HK)CO.,LIMITED(セガトイズ香港事務所)
FLAT/RM 1803 18/F TOWER 1 CHINA HONG KONG CITY

株式会社タイヨー
東京都台東区雷門一丁目2番11号 雷門フコク生命ビル6階

グループ会社

セガサミーホールディングス株式会社
東京都港区東新橋一丁目9番2号 汐留住友ビル21階

株式の状況

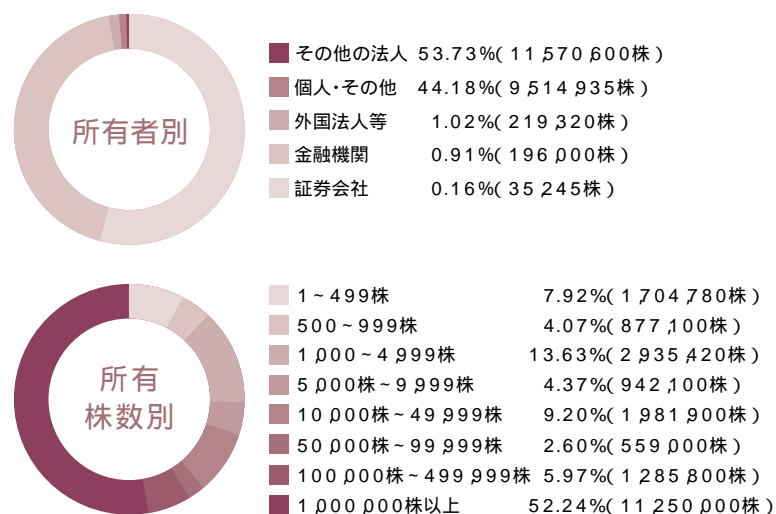
(2009年3月31日現在)

発行可能株式総数	54,660,000株
発行済株式総数	21,536,100株
単元株式数	100株
株主数	13,917名

大株主(上位10名)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
セガサミーホールディングス株式会社	11,250,000	52.24
セガトイズ従業員持株会	430,300	2.00
國分 功	207,200	0.96
日本証券金融株式会社	194,900	0.90
モルガン・スタンレー・アンド・カンパニー・インターナショナル・ピーエルシー	182,100	0.85
永田 伸二	160,000	0.74
櫻井 大三郎	111,300	0.52
横関 謙治	94,600	0.44
金井 明彦	88,400	0.41
吉野 繁	79,600	0.37

株式分布状況



セガトイズのIR情報は
ホームページで
詳しくご紹介しております。



<http://www.segatoys.co.jp/ir/index.html>



©SEGA TOYS/HORIPRO

「お茶犬」は環境省が取り組む「我が家の環境大臣」の
イメージキャラクターとしても活躍中!

<http://www.eco-family.go.jp>

株式会社 セガトイズ

<http://www.segatoys.co.jp/>

本 社

〒111-0052 東京都台東区柳橋1-4-4 ツイントラスビル

TEL.03-5822-6222(代表)

関西事業所

〒532-0004 大阪府大阪市淀川区西宮原2-1-3 SORA新大阪21 6階

将来予測に関する記述についての注意事項

本誌の業績予測に関する記述および客観的事実以外の記述に関しましては、当社が現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づいておりますが、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、これらの記述のみに全面的に依拠して投資判断を下すことはお控えくださいますようお願い申し上げます。実際の業績は、当社の事業を取り巻く経済情勢、市場動向、為替レートなどにかかわる様々な要因により、記述されている業績予想とは異なる可能性があることをご承知おきください。



この株主通信は環境保全のため、大豆インキと日本WPAとFSC認証紙を使用しています。